

# 県内の少年非行(平成30年2月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成29年は確定値、平成30年は暫定値である。

## 1 県内の非行少年等の概況

平成30年2月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は385人で前年同期(380人)に比べて5人(1.3パーセント)増加、不良行為少年は2,189人で、前年同期(4,310人)に比べて2,121人(49.2パーセント)減少している。

区分		年別	平成30年 2月末	平成29年 2月末	増 人員	減 率(%)
非 行 少 年	刑 法 犯	犯罪少年	236	240	-4	-1.7
		触法少年	72	76	-4	-5.3
		計	308	316	-8	-2.5
	特 別 法 犯	犯罪少年	36	39	-3	-7.7
		触法少年	15	6	9	150.0
		計	51	45	6	13.3
		ぐ犯少年	26	19	7	36.8
	合 計		385	380	5	1.3
	不良行為少年		2,189	4,310	-2,121	-49.2

## 2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成30年 2月末		平成29年 2月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
刑 法 犯 少 年		308	100	316	100	-8	-2.5
	凶 悪 犯	1	0.3	1	0.3		
	粗 暴 犯	46	14.9	51	16.1	-5	-9.8
	窃 盗 犯	176	57.1	180	57.0	-4	-2.2
	知 能 犯	12	3.9	2	0.6	10	500.0
	風 俗 犯	4	1.3	9	2.8	-5	-55.6
	そ の 他	69	22.4	73	23.1	-4	-5.5
	う ち 占 離	31	10.1	40	12.7	-9	-22.5

## 3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成30年 2月末		平成29年 2月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
総 数		308	100	316	100	-8	-2.5
未 就 学 生							
小 学 生		23	7.5	21	6.6	2	9.5
中 学 生		101	32.8	134	42.4	-33	-24.6
高 校 生		103	33.4	94	29.8	9	9.6
そ の 他 学 生		16	5.2	7	2.2	9	128.6
有 職		41	13.3	42	13.3	-1	-2.4
無 職		24	7.8	18	5.7	6	33.3

## 4 初発型非行の状況

区分	年別	平成30年 2月末		平成29年 2月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
総 数		167	100	183	100	-16	-8.7
万 引 き		86	51.5	72	39.3	14	19.4
オ ー ト バ イ 盗		8	4.8	17	9.3	-9	-52.9
自 転 車 盗		42	25.1	54	29.5	-12	-22.2
占 有 離 脱 物 横 領		31	18.6	40	21.9	-9	-22.5
刑法犯少年に占める率(%)		54.2	—	57.9	—	-3.7	ポイント

### ※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の14.6パーセント(前年同期比-1.4ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の57.1パーセントを占め、次いで粗暴犯の14.9パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(1,386人)と深夜はいかい(546人)が全体の88.3パーセントを占めている。